

2018年1月18日

大成九条の会ニュース

大成九条の会事務局発行

(連絡先) 泉 賢二

電話・FAX : 047-342-9982

合言葉は、「安倍9条改憲NO!」、3,000万署名にご協力ください

皆様、本年もよろしくお願いいたします。大成九条の会は、一昨年の2000万署名の取組みで、皆様から寄せられた889筆の署名を立脚点として、安倍政権による明文改憲の危険な企てを阻止し、引き続き戦争のない平和な日本と世界を実現するために、皆さんと一緒に取組みを進めていきたいと思っております。ご協力のほどよろしくお願いいたします。

昨年11月18日に北とぴあ(王子)で開催した損保九条の会第14回講演会は、中野晃一氏(上智大学国際教養学部長・教授)による講演が行われ、全体で180名、大成九条の会から28名が参加しました(裏面に講演内容を掲載)。また、「安倍9条改憲NO! 憲法を生かす全国統一署名(3000万署名)」の取組みを行っていくことを確認しました。

2017年9月にジャーナリストの田原総一郎さんら著名人19氏が発起人となり、「戦争させない・9条壊すな! 総がかり実行委員会」に結集する19団体に「九条の会」・「安保法制に反対するママの会」などが加わって発足した「安倍9条改憲NO! 全国市民アクション実行委員会」は、憲法9条改悪を阻止するため、今年5月3日の憲法記念日までに3,000万署名を軸とした行動を呼びかけています。

安倍政権は憲法9条3項に自衛隊保持を明記する強い姿勢を示しています。自衛隊の存在が憲法に書き込まれることにより、9条2項(陸海空軍その他の戦力は、これを保持しない。国の交戦権はこれを認めない。)が空文化し、違憲の集団的自衛権がなし崩し的に合憲化され、自衛隊がアメリカの戦争に加担せざるを得なくなる危険性があります。憲法をめぐる日本の進路は戦後最大の岐路を迎えています。

9条改憲の危険な企てを阻止し、憲法の民主主義、基本的人権の尊重、平和主義の諸原則が生かされる政治を実現するために、3000万署名運動への皆様のご協力をお願いします。署名用紙を同封しますので、ご家族・友人・知人の方への署名協力を含めて何卒よろしくお願いいたします。同封の返信用封筒でご返送下さい。また、恐縮ですが切手代のカンパをお願いいたします。

あわせて核兵器廃絶国際署名にご協力ください

昨年7月に核兵器禁止条約が国連加盟国の3分の2、122カ国の賛成で採択され、核兵器は非人道的で反道徳的なものであるだけでなく、違法なものとして定義づけました。核兵器廃絶を訴え続けてきた被爆者のみなさんの努力が結実しました。9月20日に国連本部で50カ国以上が署名を行いました。同条約は50カ国以上の署名・批准から90日を経て発効します。昨年国連総会では、禁止条約の採択を歓迎する一連の決議を賛成多数で採決しました。そして昨年末には核兵器廃絶国際キャンペーン(ICAN)がノーベル平和賞を受賞しました。日本政府はこの条約に背を向けており、世界に恥ずべき態度を示しています。既に過半数の1,015市町村長・知事が署名しており、全署名数は515万筆超になっています。署名用紙を同封しますので、ご協力をお願いいたします。

★大成九条の会に「3000万署名」が100筆、「核廃絶国際署名」が426筆寄せられています。

今年も、5月3日(木・祝)憲法集会への参加、11月23日(金・祝)損保九条の会第15回講演会開催(王子・北とぴあ)を予定しています。

(大成九条の会 事務局メンバー) 石川毅・戸谷弘美・石田公子・泉賢二・佐藤秀光